

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 3 区分

【発行日】 平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】 特表 2007-503488 (P2007-503488A)

【公表日】 平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【年通号数】 公開・登録公報 2007-007

【出願番号】 特願 2006-524284 (P2006-524284)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/06 (2006.01)

C 0 7 C 43/205 (2006.01)

C 0 7 C 43/275 (2006.01)

C 0 7 C 41/24 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 K 5/06

C 0 7 C 43/205 C S P D

C 0 7 C 43/205 C

C 0 7 C 43/275

C 0 7 C 41/24

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 7 月 31 日 (2007.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

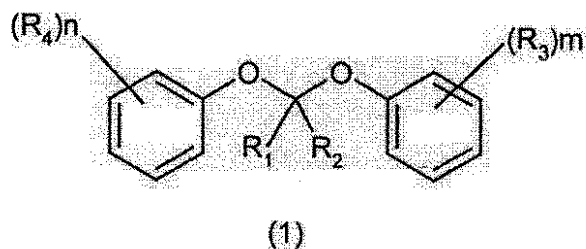
【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのポリカーボネートと、少なくとも 1 つの以下の構造の芳香族ホルマール
【化 1】



(ここで、 R_1 および R_2 は水素またはフェニルを表し、 R_3 および R_4 は、水素、線形または分岐 $C_{1} \sim C_{40}$ -アルキルまたは-アルコキシ、任意に置換されたアリールまたは-アリールオキシまたはアラルキルを表し、 n および m は互いに独立して、 $0 \sim 5$ の整数を表し、これらは異性体混合物であることも可能である) とを含有する組成物。

【請求項 2】

ポリカーボネートは 15,000 ~ 35,000 の分子量を有する前出の請求項による組成物。

【請求項 3】

芳香族ホルマールを一般的に 10 ~ 60,000 ppm の含有量で包含する前出の請求項

による組成物。

【請求項 4】

成形物品を製造するための前出の請求項による組成物の使用。

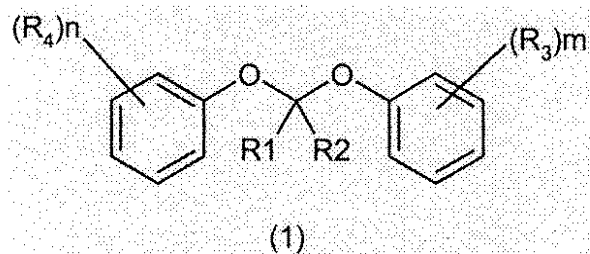
【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 の組成物から製造される光データ媒体。

【請求項 6】

式

【化 2】



(ここで、 R_1 および R_2 は水素またはフェニルを表し、 R_3 および R_4 は、水素、線形または分岐 $C_1 \sim C_{40}$ -アルキルまたは-アルコキシ、任意に置換されたアリールまたは-アリールオキシまたはアラルキルを表し、 n および m は互いに独立して、0 ～ 5 の整数を表し、これらは異性体混合物であることも可能であり、但し、 n と m は同時に 0 を表してはならず、 n および m が 1 を表し、 R_3 および R_4 が同じである場合には、 R_3 および R_4 は m - または p - メチルまたは p - CH_3 を表してはならない) の化合物。

【請求項 7】

任意に置換された単官能性フェノールを、塩化メチレンまたは α, α -ジクロロトルエンと好適な高沸点溶媒との均一溶液において、塩基の存在中で、30 ～ 80 °C の温度で反応させる式 (1) の化合物の調製方法。